

## 第45回全日本クラブ野球選手権大会九州地区予選開催要項

1. 主 催 日本野球連盟九州地区連盟、毎日新聞社
2. 主 管 J A B A大分県野球連盟
3. 後 援 大分市、スポーツニッポン新聞社、毎日新聞大分支局、大分合同新聞社
4. 期 日 2021年4月17日(土)～2日間 \*雨天順延
5. 会 場 日鉄明野球場、別大興産スタジアム
6. 代表チーム 8チーム(内訳:各県1チーム×6県、福岡県×2チーム)  
福岡県(2) : 嘉麻市バーニングヒーローズ、福岡オーシャンズ9  
佐賀県(1) : 佐賀魂  
大分県(1) : BAN BASEBALL CLUB  
熊本県(1) : 九州工科自動車専門学校  
宮崎県(1) : 宮崎福祉医療カレッジ  
鹿児島県(1) : 鹿児島ドリームウェーブ  
沖縄県(1) : シンバネットワークアーマーズベースボールクラブ
7. 入 場 料 無観客
8. 組み合わせ 4月7日(水)午後4時～(予定)  
オンラインにて(参加出来ない場合は代理抽選)
9. 試合方法 トーナメント方式(若番チーム一塁側)
10. 試合時間 4月17日①10:00②12:30 \*別大興産スタジアム  
4月17日①10:00②12:30 \*明野球場  
4月18日①9:00②11:30③14:30 \*明野球場
11. 全国大会 代表1チームは第45回全日本クラブ野球選手権大会  
(5月29日から3日間、岐阜長良川・大垣北公園野球場)に出場する。
12. 試合球 日本野球連盟九州地区連盟公認球(美津濃、一光、久保田)
13. 審判団 審判ライセンス制度の導入に伴い、一般社団法人全日本野球協会アマチュア球則委員会が認定した国際審判員、1級審判員、2級審判員で、大分県野球審判協会員で構成する。熱中症予防などの観点から、試合途中で審判員が交代することがある。
14. 大会規約  
<前提規則>  
2021年度公認野球規則、アマチュア内規及び社会人野球内規等に則って行う。  
<大会出場資格・出場承諾書>  
(1)大会出場資格:日本野球連盟登録規程に則り第1次選手登録期間(1月1日～4月30日)までに、および1次予選開始日の10日前までに加盟登録を完了した加盟クラブチーム及び会社登録の専修学校、並びに競技者登録を完了した競技者に出場資格を与える。

(2) 出場承諾書：役員10名以内、選手20名以上・40名以内をJABA新システムよりエントリーにて完了とする。

#### <選手登録>

本大会の選手登録は20名以上40名以内とする。

ベンチには選手15名以上25名以内(試合ごとに変更可能)、監督・コーチ・マネージャーの内5名及びチーム代表者(登録された者)、通訳、トレーナー、マスコットの入場を認める。(注)選手が15名未満の場合は不戦敗とする。

#### <コールドゲーム>

本大会のコールドゲームは、日没・降雨の場合は6回半または7回以降。

得点差の場合は6回半または7回以降7点差以上。

降雨やその他の理由により試合続行不可能な場合は、6回半または7回を終了していなければノーゲームとし、終了し得点差のある場合はコールドゲームとする。

上記は全試合に適用する。

#### <サスペンデッドゲーム>

試合が成立し(今大会は6回半または7回)、同点で降雨やその他の理由により試合続行が不可能な場合はサスペンデッドゲームを適用し、翌日の第一試合で行う。その場合はダブルゲームもある。

#### <オーダーの交換・攻守の決定>

第一試合のチームは試合開始時刻の60分前に代表者は本部備え付けのオーダー用紙に必要事項を記入のうえ本部へ提出し、次試合のチームは前試合の5回終了時に同様に記入し本部へ提出する。その際、担当審判員立会いのもとで、拳をもって攻守を決定する。

#### <試合前シートノック>

試合前のシートノックは7分間とし、時間のない時はこれを短縮、または省略し直ちに試合を開始する。

#### 〔延長に関わる特別規則〕

9回を終了し、両チームの得点が等しい場合は、10回より「タイブレーク」を適用する。タイブレークは全試合に適用する。

※特別ルール「タイブレーク」とは

- ・上記に定められた回の攻撃を完了し両チームの得点が等しい時、以降の回の攻撃は、無死走者一、二塁の状態から行うこととする。継続打順とする。
- ・この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が1塁走者、1塁走者の前の打順の者が2塁走者となる。
- ・この場合、代打および代走は認められる。

#### <大会日程の変更等>

降雨やその他の理由によりゲーム消化が不可能な場合には、それに伴うその後の日程及び試合順序などは全て大会委員で協議し、大会委員長が決定する。

<その他>

5回終了及び試合終了後には両チームにてグラウンド整備を行う。

15. 閉会式は簡略化して実施する。

16. 表彰内容

①団体賞

・代表チーム＝第45回全日本クラブ選手権大会代表盾

②個人賞

- ・最高殊勲選手賞 毎日新聞社賞
- ・敢闘選手賞 スポーツニッポン新聞社賞
- ・首位打者賞 九州地区連盟会長賞  
(3試合9打席7打数以上、決勝進出チームより)

17. 大会本部 ◇ア・スエヒロ (大分市高城本町 6-16) TEL097-558-3311

18. 問い合わせ ◇日本野球連盟九州地区連盟  
北九州市小倉北区砂津 1-7-19-1003  
九州地区連盟事務局 ・百留康隆 (080-8469-6461)  
TEL093-511-1119/FAX093-541-8239/E-mail: [hyakudomi-y@mainichi.co.jp](mailto:hyakudomi-y@mainichi.co.jp)  
◇大分県野球連盟  
〒870-0992 大分市大字西ノ洲一番地 九州製鉄所 大分地区  
J A B A 大分県連事務局・岩切利浩 (080-8387-0052)  
TEL097-553-2313/E-mail: [iwakiri.3xy.toshihiro@jp.nipponsteel.com](mailto:iwakiri.3xy.toshihiro@jp.nipponsteel.com)

## 【新型コロナウイルス感染拡大防止対策】

- ・ J A B A公式戦ガイドライン（令和3年2月16日発布）を順守すること。ただし感染拡大状況によって、同ガイドラインおよび開催地自治体などの方針に変更が生じた場合は、それに従うこととする。
- ・ 大会役員、関係者、チームは、特に下記の点を順守すること。

### 【球場に入る際の感染予防策】

#### 〔1〕チーム関係者

- ① 「**健康チェックシート表（チーム用）**」（チームで用意）を試合当日大会本部に提出する。  
ただし、起床直後及び出発前に検温を行い、37.5度以上あった者は球場への入場を禁止する。また、同チェックシートの質問3項目のいずれかに「有」とチェックがあった者の球場への入場の可否については、大会主催者がチーム責任者と協議して判断する。
- ② 関係者受付（入口）でアルコール消毒液による手指消毒を行う。
- ③ マスク着用とする。

#### 〔2〕大会関係者

- ①関係者受付（入口）で検温を行い、37.5度以上あった者は球場への入場を禁止する。  
また、「**健康チェックシート表（大会関係者）**」に必要事項を記載し、同チェックシートの質問3項目のいずれかに「有」とチェックがあった者については、大会主催者が当事者に内容を確認のうえ、球場への入場可否を判断する。
- ②アルコール消毒、マスク着用は、上記〔1〕と同様とする。

### 【チーム関係者の感染予防策】

監督、コーチは新型コロナウイルス感染防止対策を常に念頭に置きながら選手を指導することとする。

#### （1）球場または、宿泊施設への移動

- ①第三者との濃厚接触を回避するため、公共交通機関を利用する場合は、混み合う時間帯をなるべく避けるように注意する。
- ②移動中は、常時マスクを着用する。

#### （2）宿泊する場合

- ①起床直後と出発前の検温を行う。
- ② 宿泊は、1人部屋且つ同じフロアに宿泊することが望ましい。
- ③食事は、ビュッフェスタイルを避け、隣同士との距離を空ける。
- ④ミーティングを行う場合は、隣同士との距離を空ける。
- ⑤不要な外出は行わず、外出時にはマスクを着用する。
- ⑥外部との接触（面会）は極力避ける。

#### （3）試合前

- ①選手控室では、チーム全体でのミーティング、喫食等、長時間の滞在を避ける。

- ②対戦チーム並びに大会関係者等との接触は極力避ける。
- ③アルコール消毒液をダッグアウト、選手控室に配置し、適宜消毒を行う。
- ④ウォーミングアップ時のマスク着用は必須としない。
- (4) 試合中 後記【試合について】に記載する。
- (5) 試合終了後のチームのダッグアウト入れ替えについて
  - ① チームは、大会主催者の指示を受けてから、グラウンドやダッグアウト入りする。次チームの待機場所は、大会主催者の指示に従う。
  - ② 前試合チームとの接触を避ける。

※使用したダッグアウト、チーム控え室の消毒は、試合前後に各チームが責任もって行うこと。

#### 【試合について】

試合開始及び試合終了時、ホームベースをはさんで2 m以上の間隔をあけて両チーム向き合って整列し、挨拶を行うこととする。なお、相手チームとの握手等は行わない。

##### (1) 審判員

- ①球審＝マスクの着用、または球審用マスクシールドを装着する。
- ②塁審＝マスクの着用は必須としない。
- ③熱中症の予防には、十分に注意する。

##### (2) チーム関係者

- ①ダッグアウト内では選手同士の間隔の確保に努める。大会主催者がダッグアウト内での十分な間隔の確保が困難と判断した場合にはダッグアウト外の場所を指示し、待機させることとする。
- ②出場している選手以外の控え選手及び監督・コーチ等のスタッフ（ベースコーチを除く）は、マスク着用とする。
- ③素手でのハイタッチ、握手及びメガホンの使用等を禁止する。
- ④試合中、唾を吐く行為、手を舐める行為は禁止する。
- ⑤試合前やイニング間の円陣は一定の間隔を保つ。
- ⑥投手交代等でマウンドに集まる場合、できるだけ選手、監督（コーチを含む）との間隔をとり、可能な限り接触を避ける。
- ⑦スポーツドリンク等の回し飲みは禁止する。
- ⑧ファンとの接触（握手、サイン等）は禁止する。
- ⑨取材を受ける場合は大会主催者の指示に従い2 m以上の距離を保つ。

他、記載以外の事項についても主催者・大会本部ならびに行政機関の指示には従うこと。

客への方針転換、あるいは大会中止が開催当日でもあり得ることを徹底してください。